

間もなく冬到来

一歩進んだ雪対策を!

本年1月、府北部は大雪に見舞われ、市内でも多くの被害が発生しました。その教訓を生かし、今季は従来より一歩進んだ雪の対策をしましょう。

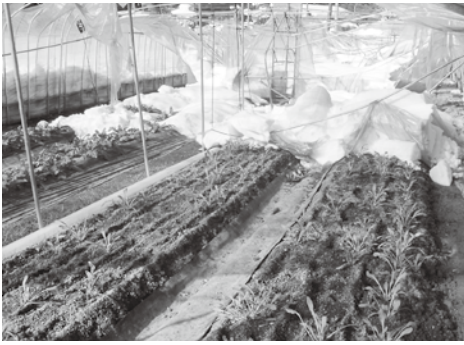


除雪の支障木は伐採を

本格的な雪の季節に備え、国や府、市では本年度も除雪を計画しています。路上に垂れ下がった樹木などは、所有者で伐採や枝払いをしてください。また、車は路上に放置しないようにしましょう。いずれも、除雪車の通行の妨げになります。消防施設付近は、早めに地域で雪かきをお願いします。円滑に進むようご協力ください。

ハウスにも事前の一策を

パイプハウスの雪害は、気温が0℃前後で、重い雪が降り続いたときに起こりやすくなります。事前に▽補強用の



15㎝超の積雪でハウス倒壊の恐れが高まる

雪かき対策を支援

除雪業者を紹介

市は、住宅などの屋根の雪下ろしや住宅から公道までの雪かきに協力していただける事業者のリストを作成。自治会連合会長と各自治会にお渡ししています。困ったときはご連絡ください。作業内容や費用は、事業者と相談して決めてください。

☎ 防災課 ☎(42)4222

費用に補助

積雪量が50㎝を超え、高齢者世帯や障害者世帯、母子世帯などが第三者に依頼して除雪した場合に、作業費用の一部を補助します。

対象／市内在住の住民税非課税世帯で、同一の自治会連合会内に子の住居がない世帯。

補助金額／1回当たりの除雪費用の半額(上限2万円)。回数の制限なし。1世帯の補助金額の上限は1年度に4万円。

申請／申請書に必要事項を記入し、民生児童委員の証明を受けて高齢者支援課へ。除雪費の領収書の写しが必要です。

☎ 高齢者支援課 ☎(42)4259

ボランティア募集

雪かきの対応が困難な世帯を手伝う雪かきボランティアを募集します。

条件／高校生以上で市内在住、在勤の人。未成年は保護者の同意が必要。

活動内容／道路から玄関先までの除雪。

募集／12月1日(金)から随時。

活動期間／12月～平成30年3月中旬ごろ。活動日は、天候や雪の条件でその都度決定し連絡。

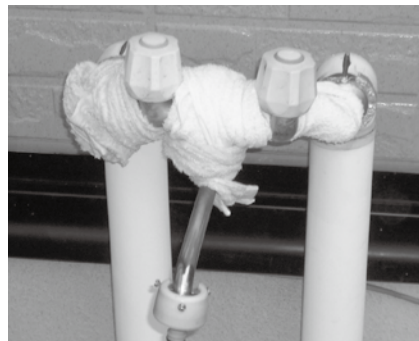
登録／登録用紙に必要事項を記入し、あやペボランティア総合センターへ。

☎ 同センター ☎(40)1388、ファクス(40)1389

気温が低い日が続くと、水道管が凍結する恐れがあります。凍結防止のため、水道管や蛇口に保温材やタオル、ビ

水道管は保温を

の立ち入りは危険です。は原則、外から。ハウス内へ



屋外や風が強い場所にある水道管は特に注意を



熱湯を直接かけると破損の原因に

支柱を細かい間隔で立てる▽被覆資材のたるみを取る▽可能な場合は天井を開放する▽などの対策で、被害を最小限にとどめましょう。また、ハウスの屋根に雪が積もったときは、早めに滑落させることが大切です。ハウスが倒壊する恐れがあるため、雪下ろし

ニール袋等を巻いて保温してください。万一凍結した場合は、自然に溶けるのを待つか、凍った部分にタオルをかぶせ、その上からぬるま湯をゆつくりとかけましょう。破損した場合は止水栓を締め、市

の給水装置工事指定業者に修理を依頼してください。地区別に修理業者の割当制度を設けています(本紙お知らせ版参照)。なお、凍結破損が原因の漏水は、料金減免の対象外です。

横の連携で災害に強まろう 綾部市防火防災協会——12月発足



市内事業所等の災害への自衛体制強化や地域と事業所等の横の連携により、市全体の防火と防災力向上を目指す「綾部市防火防災協会」。12月の発足に向け、会員を募集しています。

発足に向け関係者で協議

皆さんの善意や共助の精神で成り立つ同協会。発足に向けて会員を募集しています。現在、事業所等ではそれぞれに災害時の対策は確立されて



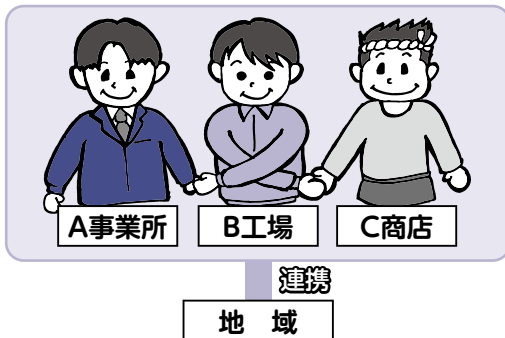
役員会の様子

いるものの、地域や事業所間で連携した災害対応は十分な状況とは言えません。近年、大地震や大火、ゲリラ豪雨など、大規模な災害が多発。いつどこで起こるか分からない災害には、市全体の防火防災力の強化が急務であることから、同協会の設立が決定しました。市は8月、商工会議所や工業団地、自治会等の関係者で作る同協会設立準備会（世話人代表、塩田展康・綾部商工会議所会頭）を開催。10月には役員会として体制を変え、12月の発足に向けて協議を重ねています。

強みを生かし地域に貢献

会員は、合同で行う防災訓練や研修会等に参加。他事業所と知恵を出し合い、防災に対する備えに取り組みます。また、市民に対する防火防災の啓発等、地域に身近な事業

目指す連携のイメージ



所として活動します。さらに、万一災害が起こった場合は会員同士や地域、行政が連携。被災者の移送や受け入れ、建設機械の手配、生活用品の提供など、お互いの強みを生かし、被害を最小限に食い止めます。入会には、業種や規模は問いません。詳しくは、消防本部予防課 ☎(42)0119へ。

善聞 語録

93



ガラ・シテイ

「最も強いものが生き残るのではなく、最も賢いものが生き延びるのでない。唯一生き残るのは、変化できるものである」。有名なダーウインの『進化論』の一節だが、研究の場となった絶海のガラパゴス諸島で興味深い進化が起きているという。

島に棲むイグアナはサボテンを食するが、絶滅を危惧したサボテンは食べられないよう長い時間をかけて背丈を伸ばした。するとイグアナは餌場を海に求め、岩場にしがみつけるように手足の爪を発達させ海藻を食する進化を遂げたとのこと。更に頑強になった爪を

使って一度は諦めかけたサボテンにも登ることが可能となったという。いわば水陸両用の「ハイブリッド・イグアナ」が誕生した訳で、こうなるとそれに対してサボテンが今後どんな進化を辿るのかを研究観察中とか。身近な産業でも、同じ製品を手掛けるならば生産現場を海外に移し、逆に同じ場所で操業を継続するなら新商品を開発するなど、生き残りの策を講じている企業は多々ある。本市の製造業しかりである。そしてこの事象は「まちづくり」にも当てはまる。

人口減少・少子高齢化社会における諸施策が高度経済成長時代と同じであって良いはずがない。日本社会でしか通用しない標準に引きこもってしまう様を「ガラパゴス症候群」と揶揄されて久しい。ガラケー（携帯電話）が象徴的だが、変化に対応できない「ガラ・シテイ」と貶められないまちづくりが今、求められている。

山崎善也（綾部市長）



今年も運行! クリスマスバス・ あやバス移動絵画展

最優秀作品



梅原優梨 (綾部小3年)



秋田京香 (吉美小6年)

市は毎年好評のクリスマスバスとあやバス移動絵画展を開催します。今年は、志賀南北線にもサンタクロースが乗車し、プレゼントを配ります。

**志賀南北線にも
サンタが乗車**



クリスマスバスを運行するのは、クリスマスシーズンを迎える12月11日から25日まで。上林線(車両番号10-00)と志賀南北線(車両番号10-07)で、綾東こども園と物部保育園の園児が作ったクリスマスの装飾が車内で楽しめます。

さらに、12月23日にはサンタが乗車しクリスマスプレゼント

ントを配布。一緒に記念撮影もできます。今年から上林線に加え、志賀南北線でも実施。サンタに会えるのは上林線が9時45分、志賀南北線が11時34分に市立病院前バス停を発車する便です。この機会にぜひ、あやバスをご利用ください。

**移動絵画展は
11月末まで**



市は、第8回あやバス絵画展を開催しました。応募は過去最多の281点(小学校低学年263点、高学年18点)。入賞作品は「移動絵画展」として11月末まで上林線(車両番号10-00)の車内で展示します。入賞者は次の皆さんです。

す(敬称略)。

小学校低学年の部

最優秀

梅原優梨 (綾部小3年)

優秀

福井絃生 (吉美小3年)

野間心遥 (豊里小3年)

佳作

岩崎歌奏 (西八田小2年)

能勢結心 (同)

佐田羽菜 (東八田小1年)

植田玲南 (豊里小3年)

葉田大心 (同2年)

桃太郎賞

松下琴音 (中筋小3年)

原田季帆 (吉美小3年)

小学校高学年の部

最優秀

秋田京香 (吉美小6年)

優秀

由良愛菜 (吉美小5年)

余田知也 (東綾小5年)

佳作

加藤志保 (綾部小5年)

田中美優 (吉美小4年)

桃太郎賞

岩本和花 (吉美小6年)



第24回市菊花展

— シルバー30周年記念式典も

第24回市菊花展（市シルバー人材センター、市菊花会共催）が10月29日から11月3日まで、青野町のグンゼスクエアで開かれ、市長賞には荻野素尚さん（幸通）の波多野鶴吉・はな夫妻をモチーフにした菊人形＝写真＝が選ばれました。また29日には、同センターの設立30周年記念式典等も行われ、期間を通じて多くの人でにぎわいました。

大飯発電所の 住民説明会を開催

市は10月11日、八津合町の市観光センターで「大飯発電所に係る住民説明会」を開催しました。同発電所から約30キロ圏内の住民や事業所等の代表者など約65人が来場。関西電力や原子力規制庁、内閣府から説明を受けました。内容は市ホームページで動画公開しています。



あやべニュース



市内に爪痕残す — 台風21号

10月22日から23日未明にかけて接近した台風21号。降り始めからの雨量が陸寄町で406.5ミリを記録し、市東部を中心に住宅浸水や土砂崩れなどが発生。一時は故屋岡町古和木、陸寄町古屋で集落が孤立するなど爪痕を残しました。市は引き続き、被害の把握と速やかな対応に努めます。（写真は災害ボランティアや地域住民による支援活動。10月27日、古和木地区で—）

綾部のうたと踊り

— 第65回市総合文化祭

第65回市総合文化祭（市文化協会主催）の芸能発表会が11月5日、里町の中丹文化会館で開かれました。今年は、同協会の創立70周年記念の特別企画として、綾部百人一首や綾部音頭、あやべ小唄など、綾部にちなんだうたと踊りが披露されました＝写真。



総務省消防庁から消防車両を無償貸付

市は、総務省消防庁から「救助資機材・小型動力ポンプ搭載多機能車」の無償貸付を受けました。大規模な自然災害に備えるための貸付で、全国33台のうち1台が府内で唯一、本市に配備されました。車両には消火活動用の機材や救助資機材、救命資機材を装備。今後、市消防団本部で有効に活用します。